

epoocal

静岡県男女共同参画センター・あざれあ情報誌

エポカ vol.120

2016年6月号



特集：ムスリムとして生きる

6/23～6/29は、

☆☆ **男 女 共 同 参 画 週 間** ☆☆

今年のキャッチフレーズは、

「意識をカイカク。男女でサンカク。社会をヘンカク。」

私たちのまわりの男女のパートナーシップについて、この機会に考えてみませんか？

この人に聞く！ アサディみわさん（静岡ムスリム協会副代表）

●ムスリムとして生きる

今から15年ほど前、イスラム教に入信しました。当時アメリカに留学中で、多様な価値観が混在する文化の中、自分らしい生き方を模索していた時出会ったイスラム教徒の友人の生き方、善悪に対する考え方にとても惹かれ、その友人のようにゆるぎない生き方をしたいと思ったこと、その生き方の根幹にあるのがイスラム教だと気づいたことが、入信のきっかけです。イスラム教には、時代の流れに左右されない、人間の普遍的な生き方に対するメッセージがあり、その教えに従って生きたいと思いました。



ムスリムになったことを両親に告げた時、特に反対はされませんでした。入信してから約2年後に現在の夫（モロッコ人）と結婚し、日本に帰国、一時両親と同居していた時期は、礼拝や断食、食事制限など、イスラムの慣習に対する両親の戸惑いが見られ、お互いにストレスを感じた時もありました。現在は別居していますが、ムスリムとしての私たち家族の生き方を全面的に理解、支援してくれています。

欧米の人間観から見ると、イスラムでは女性に対する制約が多々あるとみられていますが、イスラム側から見れば、男女の性差をとっても大切に考え、男女を公平に捉えています。

イスラム圏の国々の中でも、風土・文化的要因に従っているためイスラムの教えとは異なる体制もありますし、逆にイスラム圏に、女性に対する教育や社会進出が日本と比べて進んでいると思われる国もあります。

私がイスラム教徒として明言できるのは、イスラム本来の教えでは、女性は決して蔑視されていなく、むしろ気高い地位と尊厳を持って大事にされています。



女性相談

ひとりで悩まないで・・・まずは電話で話してみませんか？

夫やパートナーとの関係、子どもや家族をめぐる悩みや苦しみなどのご相談に応じます。すべて女性の相談員・弁護士・医師による相談です。安心してお電話ください。

0558-23-7879 賀茂
055-925-7879 東部
054-272-7879 中部
053-456-7879 西部

※混み合う場合がございます。時間をあけておかけ直してください。

月・火・木・金 9:00～16:00
水曜日 14:00～20:00
第2土曜日 13:00～18:00

※いずれも日・祝を除く

面接

要予約・託児つき・無料
あざれあ女性相談の番号におかけください。

月	火	水	木	金
DV・その他暴力 10:00～15:00	偶数月第4 精神科医相談 14:00～16:00	DV・その他暴力 14:00～19:00	DV・その他暴力 10:00～15:00	奇数月第3 精神科医相談 14:00～16:00
	第1・第3 弁護士相談 13:00～16:00			

男性電話相談

解決の糸口が見える！

ストレス社会に生きる男性のまわりには、さまざまな悩みがあります。ひとりで悩むより相談してみませんか？自分の生き方、家庭の問題、仕事や健康の悩みなど、あなた自身が解決の糸口を見出すために専門の男性相談員が電話で相談にのります。

毎月第1・3土曜日 13:00～17:00

※つながらない場合は、少し時間をおいてかけ直してください。
※第1・3土曜日が休館日の場合、次の週の土曜日に相談を実施します。

平成28年									平成29年		
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
2日	7日	4日	2日	6日	3日	1日	5日	3日	7日	4日	4日
16日	21日	18日	16日	20日	17日	15日	19日	17日	21日	18日	18日

専用電話 054-272-7880

●“対話”を通して“違い”を理解する

イスラム教徒が日本で暮らすことに、今のところ大きな問題はないと感じています。日本で、イスラム教徒だからという理由でひどい迫害を受けたり、ヘイトクライム（異教徒・異民族への憎悪や、人種間対立に起因する犯罪）の対象となったりという事件はありません。非イスラム圏の国々の中でも、日本はムスリムにとって暮らしやすい国ではないでしょうか。それは、日本には宗教に対して寛容な土壌があることを示しているといえます。

とはいえ、宗教上の戒律を守りながら日本社会で問題なく暮らすムスリムがいても、日本人とは違う“異文化性”から日常生活や進学・雇用の機会などで、不当な扱いを受ける場合も少なくありません。

教科書やメディアを通して入ってくる情報には限界があると思います。学校などで生徒にイスラムの文化について話す機会が時々ありますが、生徒たちからは、「なぜヒジャブをするのか」、「どうして断食をするのか」など、いろいろな質問を受けます。そういった“対話”を通して多様性のある社会と触れ合うことが、これから子どもたちが社会の中で、自分らしい生き方を見出し、様々な価値観を持つ人々と共生していくためのきっかけとなります。

日本人ムスリムである私は、ある意味“内なる異文化人”として見られており、独特な環境にいるのかもしれませんが。そのため、いわゆる“日本文化出身でない人たちが”“外人”扱いされたり、心無い言葉に傷つけられたりすることに、胸がとても痛みます。

地域の一員として、あたりまえに共生できる社会になるために対話を重ねていくことこそが、お互いの違いを理解し、尊重し合える社会を形成する上で必要ではないでしょうか。私は、そんな多文化間の橋渡しの一端を担うことができれば嬉しいと思いながら、ムスリムとして暮らしています。

県内の高校にて、出張イスラム講座を通し異文化理解を促す→



チャレンジ相談（再就職・起業・NPO）

女性限定！無料！託児付き！

～静岡県ではチャレンジしたいあなたの最初の一步を応援しています！～

「子育て・介護が一段落したので再就職したい」、「起業したい」、「NPO を作りたい」など“女性のチャレンジ”を支援する『チャレンジ相談』を実施します。

キャリア・カウンセラー等の女性専門アドバイザーが、問題点を整理するお手伝いやアドバイス、ひとりひとりのニーズに合った支援機関の紹介をします。あなたが思いもしなかったアドバイスがあるかもしれません。

H28年度	平成28年									平成29年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
土曜日	16日	/	4日	/	20日	/	15日	/	17日	/	18日	/
水曜日	/	18日	/	20日	/	21日	/	16日	/	18日	/	15日

【実施日時】 偶数月第3土曜日 ①13:00～ ②14:00～ ③15:00～

奇数月第3水曜日 ①9:30～ ②10:30～ ③11:30～

【会 場】 静岡県男女共同参画センターあざれあ（静岡駅北口から徒歩9分）

【定 員】 各回3人（申込先着順）

【託 児】 1歳半～未就学児の無料保育あり。2週間前までに予約をしてください。

【申込み】 ①氏名、②住所、③電話番号、④年齢、⑤希望日時、⑥託児の有無
⑦相談区分（再就職・転職・起業・キャリアアップ・地域活動・その他）
⑧これまでの相談の有無

以上を、電話・FAX・e-mail で相談日の10日前までにお知らせください。
（メールの件名は「チャレンジ相談申込み」としてください。）

【その他】 静岡県在住の女性が対象です。

多くの皆様にご利用いただくため、ご利用はお一人年間3回までとします。
（キャンセルも1回に含めます。）

相談日時が決定したら、文書でご連絡いたします。

申込み・問合せ：静岡県暮らし・環境部 県民生活局 男女共同参画課

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

TEL：054-221-2824 FAX：054-221-2941

e-mail：danjyo@pref.shizuoka.lg.jp

あざれあナビ

検索

『イスラム世界のジェンダー秩序：「アラブの春」以降の女性たちの闘い』

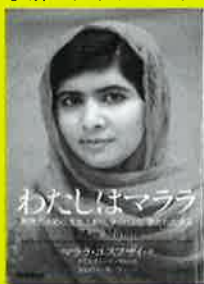
(辻上奈美江//著 明石書店 2014年)



「アラブの春」は女性の位置づけやジェンダーにどのような影響を与えたのでしょうか。異なる経験をする事となったチュニジア、エジプト、バハレーン、サウディアラビア、モロッコを対象に分析しています。

『わたしはマララ：教育のために立ち上がり、タリバンに撃たれた少女』

(マララ・ユスフザイ、クリスティーナ・ラム//著 学研パブリッシング 2013年)



2012年10月、女の子たちも教育を受けられるように訴え続けたことにより、下校途中のスクールバスの中で銃撃にあったマララ。故郷のスワート渓谷のこと、教育者である父のこと、そして再び声を上げる姿などが描かれた自伝です。

『国際結婚 イスラムの花嫁』

(泉久恵//著 海象社 2000年)



ある日本人の女性がアフガニスタンの青年と結婚し、柳由美子からシャハネムという名に変わります。アフガニスタンでの暮らしや、サウル革命によりパキスタンを経てニューヨークへ辿り着くまでを綴った一人の女性の物語。



図書室利用案内

貸出：図書5冊、ビデオ・DVD2本(2週間)
開室時間：月～金 9:00～18:00 土日祝 9:00～17:00
休室日：第1・3・5日曜日、図書整理日(6/30)
TEL：054-255-8763 / FAX：054-255-8759

男女共同参画社会づくり
宣言事業所・団体

遠州沖ちゃんクラブ (掛川市)

宣言事業所・団体 1,345件
(平成28年4月11日現在)



鈴木副江さん

掛川市の南部・沖の須にコミュニティセンター「いこい」ができた平成14年、ここを拠点にできる村おこし活動として「塩づくり」をすることにした。遠州灘に面したこの地区では昔から盛んで、子どもの頃に当たり手伝っていたという人も大勢いた。

一口1万円の出資者を募り、68人の賛同者が集まった。会の名称は「遠州沖ちゃんクラブ」、製造責任者は役場をやめて「いこい」の事務局長だった鈴木副江さん。

会員の多くは職場を定年退職した人、自営業を次世代に譲った人など60歳以上だったが、大工、左官、電気など得意分野を持つ人がいたおかげで、塩づくりに必要な平釜、煙突、大きなビニールハウスといった設備は安く短期間に出来上がった。それぞれがやれることを分担しながら、健康づくり・仲間づくりをし、それが地域の活性化につながっていけば……という小さいけれど地に足がついた活動が動き出した。

塩づくりの作業は朝5時に始まる。海水を汲んできて塩釜に移し、薪をくべること約10時間。その間に何度も濾していくと、ミネラルたっぷりの真っ白い塩の結晶ができてくる。手作りのビクに約20キロずつ詰めて乾燥室で4、5日吊るし、さらに天日で干す。主力商品は塩とにがりだが、イベント用に味噌、梅干し、金山寺なども作る。

「男女共同参画宣言事業所」に登録したのは平成22年。男女半々でお互いを認め合い、楽しく活動している団体として手を上げた。もともと合併前の平成11年、大須賀町は県下で最初の男女共同参画都市宣言をしており、町民全体に「先駆者」としての誇りがあった。その上、役場の担当課長として当時先頭で推進していたのが製造責任者の鈴木さんだった。「宣言事業所・団体」に登録しない方がおかしいほどだ。

発足から14年経ち、天然塩の良さは徐々に認められ、スーパーや道の駅などの小売りのほか、菓子や塩飴の原料に、また掛川市のふるさと納税の返礼品にも使われている。会員の高齢化が当面の課題だが、お互いを認め合いチームワークで乗り切っている。取材：藤井康子(掛川市)



手作りの遠州塩で地域おこし!

6/25(土) ★ ドキュメンタリー映画『アンタッチャブル』上映会

6/23～6/29まで、『男女共同参画週間』です。あざれあでは、インド・ネパールの人身売買についてのドキュメンタリー映画『アンタッチャブル』を上映します。この機会に、世界で起きている女性の人権問題について一緒に考えましょう。

【日時】平成28年6月25日(土) 14:00～(開場:13:30)
14:00～14:10 映画について説明(西裕さん:日本語字幕を担当)
14:10～15:15 上映
15:15～15:45 解説と質疑応答(西さんと)

【場所】静岡県男女共同参画センター(あざれあ) 6F 大ホール

【入場料】無料

【託児】なし(親子室あり)

【お申込み・お問合せ】静岡県男女共同参画センター交流会議事務局 TEL:054-250-8147 FAX:054-251-5085

〒422-8063 静岡市駿河区馬淵1-17-1 e-mail: info@azarea-navi.jp